

学生支援の現場から

◆国立明石工業高等専門学校

「ソーシャルマーケットを利用した学生の育成」

～キャンパスづくりと地域貢献を通して

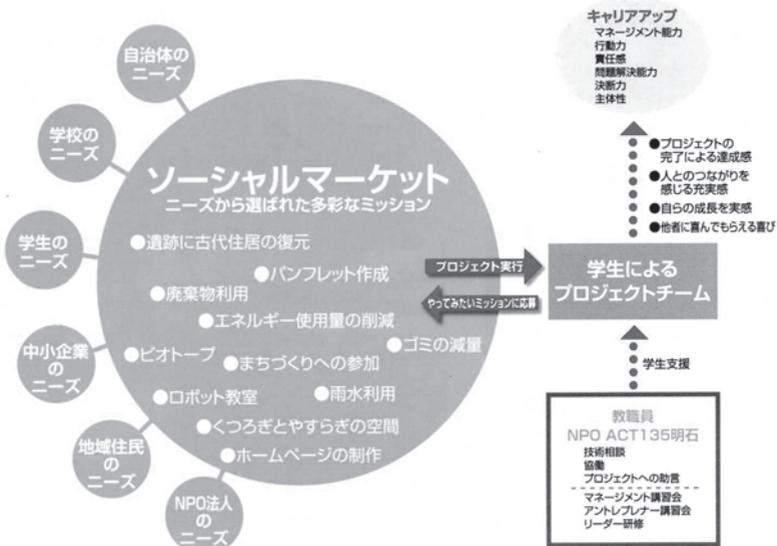
キャリアアップ支援プログラム～

松田 安隆

(一般科目 教授)

中央教育審議会答申『高等専門学校教育の充実について』（平成二〇年二月二四日）の中で、高専教育の方向性として「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」という教育目的が示されたように、社会経済環境が変化する中で、高専はイノベーションを生み出す人材を養成し、地域の企業や自治体等との連携を深めて環境、まちづくり、ものづくりなどの分野で地域に貢献することが求められています。

本校は、このような社会のニーズに応えるために『ソーシャルマーケットを利用した学生の育成』（平成二〇年度学生支援GP採択）というプロジェクトを立ち上げました。本取組では、ソーシャルマーケットを「環境改善、キャン



プロジェクトの概要

パスづくり、地域貢献などの社会益のある活動（ミッション）に対してサービスを提供することを目的としたマーケット」と定義し、マーケットには自治体、学校、学生等からのニーズのうち価値があると認められたものをミッションとして上げています。学生はやってみたいミッションに主体的に取り組み、その体験を通してコミュニケーション能力、マネジメント能力、問題解決能力などの人間力を伸ばすとともに地域のまちづくりや環境問題などに貢献することができま

す。COOP教育においては、学生が単調な仕事に配属されて意欲を失う場合もあるなどのデメリットが指摘されるのに対して、本取組は以下のメリットを上げることができま

- (1) 多くのミッションがマーケットにあることで、自分の得意とする分野、興味のある分野のミッションが選べる。
- (2) 多様なきっかけ（新しい出会いや経験、他者に喜んでもらえる、経済的対価など）を提供できる。
- (3) 地域からニーズが吸い寄せられ協働教育の輪が広がる。
- (4) 学生自身がマーケットに問題解決の必要なサービスを求めることができる。

現在は、ソーシャルマーケット内で二五のミッションが活動中です。また、プロジェクト専用のホームページ（<http://act-market.org>）を開設して、それぞれのミ



ソーシャルマーケット推進プロジェクトHP

ツシヨンはホームページのブログ内で活動案内や報告などの広報も行っています。

本取組で実践してきたことをもとに、学生は学外のごさまざまなコンテストや大会にも参加しています。本年度は「二〇〇九日本ストックホルム青少年水大賞」審査部会特



ため池保全活動

別賞、「第一五回学生CGコンテスト」奨励賞などを受賞することができました。

本取組の手法は他大学や他高専でも取り入れることができ有効なものです。今後ソーシャルマーケットがさらに広がっていくことを願っております。



竹材の回収作業